

12月16日(火)
第1会場(4F国際会議場)

9:00~9:10 開会式

9:10~10:20 シンポジウム1「消化器癌の生成AI利用」 64

座長：石川 俊平 東京大学大学院医学系衛生学分野・国立がん研究センター EPOC 臨床腫瘍病理分野
神田 光郎 名古屋大学大学院医学系研究科消化器外科学

S1-1 生成AIを活用した胃癌微小環境のscRNA-seqおよび空間トランスクリプトーム解析

○坪坂 歩¹⁾、佐野 恭平¹⁾、垣内 美和子¹⁾、河村 大輔¹⁾、加藤 洋人²⁾、牛久 哲男¹⁾、石川 俊平^{1,2)}
1) 東京大学、2) 国立がんセンター

S1-2 深層学習イメージサイトメトリー”Cu-Cyto”を用いたNACRT後直腸癌におけるCD103⁺CD8⁺T細胞解析

○伊藤 良太¹⁾、山下 公大²⁾、長坂 暢³⁾、安達 裕里¹⁾、阿部 智喜¹⁾、小寺澤 康文¹⁾、青木 文明¹⁾、原田 仁¹⁾、
音羽 泰則¹⁾、裏川 直樹¹⁾、後藤 裕信¹⁾、長谷川 寛¹⁾、金治 新悟¹⁾、松田 武¹⁾、掛地 吉弘¹⁾
1) 神戸大学大学院医学研究科外科学講座 食道胃腸外科学分野、2) 神戸大学大学院保健学研究科 病態解析学、
3) 医療法人AIキュレーション協会

S1-3 消化器外科領域における生成AI技術の現状と将来の展望

○青木 康太郎、田中 晴祥、飯塚 彰光、中川 暢彦、栗本 景介、中西 香企、佐藤 雄介、梅田 晋一、高見 秀樹、
清水 大、服部 憲史、林 真路、田中 千恵、神田 光郎
名古屋大学大学院 消化器外科学

S1-4 ロボット支援下臍切除におけるAIを用いた最適剥離層認識とビデオ検討会の教育効果

○田中 晴祥、中川 暢彦、川勝 章司、山田 美保子、高見 秀樹、栗本 景介、渡辺 伸元、
砂川 真輝、尾上 俊介、林 真路、水野 隆史、山口 淳平、横山 幸浩、神田 光郎、江畑 智希
名古屋大学医学部附属病院

S1-5 上部消化管癌(胃癌、食道癌)におけるロボット支援手術とAIの融合

○田中 毅¹⁾、太田 綾香¹⁾、藤田 正博¹⁾、梅木 祐介¹⁾、鈴木 和光¹⁾、芹澤 朗子¹⁾、秋元 信吾¹⁾、中内 雅也²⁾、
渡邊 祐介²⁾、柴崎 晋³⁾、稻葉 一樹²⁾、宇山 一朗²⁾、須田 康一¹⁾
1) 藤田医科大学 総合消化器外科、2) 藤田医科大学 先端ロボット・内視鏡手術学講座、
3) 藤田医科大学 岡崎医療センター 外科

S1-6 消化器癌手術における生成AIの応用:診断支援・術中ナビゲーション・記録自動化

○平下 賢二郎¹⁾、徳安 達士²⁾、白下 英史³⁾、三吉野 航¹⁾、藤田 隼輔¹⁾、長谷川 巧¹⁾、河村 昌寛¹⁾、
二宮 繁生¹⁾、遠藤 裕一¹⁾、猪股 雅史¹⁾
1) 大分大学医学部 消化器・小児外科学講座、2) 福岡工業大学 情報工学部 情報システム工学科、
3) 大分大学医学部 高度医療人育成講座

【特別発言】

瀬戸 泰之 国立がん研究センター中央病院

10:25~11:25 パネルディスカッション1「遺伝子編集・細胞治療 技術と臨床応用」 82

座長：鈴木 穎 東京大学大学院新領域創成科学研究科附属生命データサイエンスセンター
妹尾 浩 京都大学大学院医学研究科消化器内科学

PD1-1 エピゲノム編集を用いた新しいがん治療研究

田中 美和
公益財団法人がん研究会がん研究所

PD1-2 患者由来大腸癌組織に対する同種iPS細胞由来 $\gamma\delta$ T細胞の局所及び経静脈投与による傷害性

○二井 誠子^{1,2)}、小柳 千代²⁾、堀川 学²⁾、堀江 和正²⁾、児玉 裕三¹⁾、青井 貴之²⁾
1) 神戸大学 消化器内科、2) 神戸大学 幹細胞医学分野

PD1-3 標的タンパク質分解技術を活用した大腸癌発癌機構の解明と新規治療戦略の開発

○牟田 優、安村 健人、稻野 将二郎、中西 祐貴、妹尾 浩
京都大学

PD1-4 がんの新規治療標的探索に向けた先端空間オミクス計測技術

○鈴木 純子、善光 純子、鈴木 穎
東京大学

PD1-5 生成AI時代のがん研究

島村 徹平
東京科学大学

11:30~12:30 日本癌治療学会とのジョイントセッション「Liquid Biopsyの新技術」 56

座長：吉野 孝之 国立がん研究センター東病院
坂井 和子 近畿大学医学部ゲノム生物学教室

J1-1 切除可能大腸癌におけるctDNA検査のReal world data

片岡 幸三
兵庫医科大学 外科学講座下部消化管外科

J1-2 世界最大のMRDレジストリであるGALAXY試験から得られるもの

沖 英次
九州大学病院 先端医工学診療部

J1-3 MONSTAR 3.0およびMONSTAR 3.5によるMRDの新展開

橋本 直佳
国立がん研究センター東病院 消化管内科/TR支援室/周術期治療開発室

J1-4 大腸癌におけるMolecular Residual Diseaseアッセイの現状と展望

坂東 英明
国立がん研究センター東病院 医薬品開発推進部門・消化管内科

12:40~13:25 ランチョンセミナー1

「Cold tumorの腎癌に対する液性の抗腫瘍免疫応答を最大限に引き出すための
創発的戦略 -とくに、probioticsを用いた腸内ケアの重要性-」

共催：ミヤリサン製薬株式会社
座長：間野 博行 国立がん研究センター
演者：太田 哲生 金沢大学

13:30~13:50 特別講演 38

座長：島田 光生 徳島大学

Precision Surgeryは実現可能なのか？

武富 紹信

一般社団法人日本外科学会理事長/北海道大学大学院消化器外科学教室 I

13:55~15:05 研究奨励賞発表 50

座長：杉町 圭史 九州がんセンター肝胆膵外科
馬場 祥史 東京大学 消化管外科

RS-1 胃癌におけるプラズマ活性酢酸ナトリウム溶液の抗腫瘍効果

○伊藤 雄貴¹⁾、神田 光郎¹⁾、田中 宏昌²⁾、中村 香江³⁾、水野 正明⁴⁾、堀 勝²⁾、梶山 広明³⁾、江畑 智希¹⁾、小寺 泰弘⁵⁾

1) 名古屋大学大学院 医学系研究科 病態外科学 消化器外科学、2) 名古屋大学 低温プラズマ科学研究センター、3) 名古屋大学大学院 医学系研究科 産婦人科学、4) 名古屋大学 先端医療・臨床研究支援センター、5) 独立行政法人 国立病院機構 名古屋医療センター

RS-2 大腸癌における血管内皮グリコカリックスが腫瘍免疫に及ぼす影響についての検討

○遠藤 真英、富田 弘之、藤林 勢世、近石 和花菜、三井 範基、横井 亮磨、洞口 岳、畠中 勇治、松本 圭太、久野 真史、林 弘賢、原 明、松橋 延壽
1) 岐阜大学医学部附属病院消化器外科、2) 岐阜大学医学部附属病院腫瘍病理

RS-3 細胞系譜解析を応用した大腸癌の最適化治療の確立に向けた研究

向山 順子
東京大学医科学研究所 外科・フロンティア外科学

RS-4 肝細胞癌のミトコンドリア代謝に着目したレンバチニブ耐性獲得機序の解明

赤岡 宗紀
東京慈恵医科大学 外科学講座 肝胆膵外科

RS-5 膵癌細胞における低酸素状態による解糖系亢進は活性酸素抵抗性を促進する

○前川 肇^{1,2)}、三宅 亨¹⁾、前平 博充¹⁾、向所 賢一²⁾、谷 真至¹⁾、上本 伸二³⁾

1) 滋賀医科大学 外科学講座、2) 滋賀医科大学 医学・看護学教育センター、3) 滋賀医科大学 本部

15:10~16:10 パネルディスカッション3「消化器癌と体細胞モザイク」 86

座長：小川 誠司 京都大学 大学院医学研究科 腫瘍生物学講座
竹原 徹郎 関西労災病院

PD3-1 類粘膜における体細胞モザイクを指標とした食道扁平上皮がん予測モデル構築の検討

○横山 顕礼¹⁾、渡部 光一²⁾、井上 義景²⁾、平野 智紀²⁾、玉置 将司¹⁾、岸本 曜³⁾、金 秀基⁴⁾、小川 誠司²⁾、武藤 学¹⁾、垣内 伸之^{2,5)}

1) 京都大学 腫瘍内科、2) 京都大学 腫瘍生物学講座、3) 京都大学 耳鼻咽喉科、4) 神戸朝日病院 消化器内科、5) 京都大学 消化器内科

PD3-2 主肺管における体細胞モザイク

○垣内 伸之、平野 智紀
京都大学

PD3-3 原発性硬化性胆管炎におけるクローン拡大

○前田 紘奈^{1,2)}、垣内 伸之^{1,3,4)}、伊藤 孝司⁵⁾、小川 絵里⁶⁾、塩川 雅広⁴⁾、宇座 徳光⁴⁾、渡部 光一¹⁾、南谷 泰仁⁷⁾、児玉 裕三⁸⁾、片岡 竜貴⁹⁾、波多野 悅朗⁵⁾、小川 誠司^{1,2,10)}
 1) 京都大・医・腫瘍生物学、2) 京都大・ヒト生物学高等研究拠点、3) 京都大・白眉センター、
 4) 京都大・医・消化器内科、5) 京都大・医・肝胆脾移植外科、6) 京都大・医・小児外科、
 7) 東京大・医科研・血液腫瘍内科、8) 神戸大・消化器内科、9) 岩手医大・医・機能病態学、10) 近畿大・医・革新的医学

PD3-4 ピロリ菌感染胃粘膜および腸上皮化生の解析

田中 庸介
国立がん研究センター研究所

16:15~17:15 ワークショップ2「Liquid biopsy臨床応用」 98

座長：岩槻 政晃 熊本大学消化器外科学
沖 英次 九州大学大学院消化器・総合外科

WS2-1 3D定量位相フローサイトメーターを用いた非染色による循環腫瘍細胞検出の試み

○菊池 寛利¹⁾、羽田 綾馬¹⁾、山田 秀直²⁾、小嶋 忠浩¹⁾、岡崎 茂俊²⁾、吉川 悅次³⁾、境井 勇気¹⁾、曾根田 亘¹⁾、村上 智洋¹⁾、坊岡 英祐¹⁾、松本 知拓¹⁾、平松 良浩⁴⁾、竹内 裕也¹⁾
 1) 浜松医科大学外科学第二講座、2) 浜松ホトニクス中央研究所、
 3) 浜松医科大学 バイオフォトニクスイノベーション寄附講座、4) 浜松医科大学周術期等生活機能支援学講座

WS2-2 肝細胞癌術後再発リスク層別化における可溶性PD-L1の有用性

○旭 火華、深澤 拓夢、柿坂 達彦、長津 明久、相山 健、志智 俊介、坂本 讓、吉田 祐一、後藤 了一、渡辺 正明、川村 典生、武富 紹信
北海道大学 消化器外科 I

WS2-3 Digital PCRを用いたctDNAモニタリングによる動的個別化医療の実装

○岩谷 岳¹⁾、西塚 哲²⁾
 1) 岩手医科大学 臨床腫瘍学講座、2) 岩手医科大学 医歯薬総合研究所 医療開発研究部門

WS2-4 血中循環腫瘍DNAのゲノム異常を応用した食道がん分子的残存病変の検出と食道切除術後の予後予測

○胡 慶江¹⁾、木村 和恵³⁾、高階 悠¹⁾、大渕 昂¹⁾、渋田 祥平¹⁾、安東 由貴¹⁾、大津 甫¹⁾、米村 祐輔¹⁾、三森 功士¹⁾、沖 英次²⁾
 1) 九州大学病院別府病院外科、2) 九州大学病院先端医工学診療部、3) 九州がんセンター消化器外科

WS2-5 Stage III胃癌の治療前診断精度向上を目的とした Liquid biopsy

○庄田 勝俊、河口 賀彦、丸山 傑、齊藤 亮、水上 瑛仁、小澤 貴臣、田中 寛人、松岡 宏一、樋口 雄大、滝口 光一、白石 謙介、古屋 信二、出雲 渉、雨宮 秀武、市川 大輔
山梨大学医学部外科学講座第一教室

WS2-6 下部直腸癌に対するSOX+Bev併用術前化学放射線療法の長期成績と効果予測

○徳永 卓哉、和田 佑馬、中尾 寿宏、西 正暁、柏原 秀也、高須 千絵、良元 俊昭、森根 裕二
徳島大学消化器・移植外科

12月16日(火) 第2会場(7F大会議室)

第12
2月
16日
会場(火)

9:10~10:20 シンポジウム2「ゲノム・オミックス・ロボティクスを統合した未来の個別化外科医療」 67

座長：田中 靖人 熊本大学消化器内科学
大段 秀樹 広島大学 消化器・移植外科学

S2-1 肝胆膵領域における外科診療の進化～ゲノム診療とロボット支援下手術の診療実績～

○岡部 弘尚¹⁾、林 洋光¹⁾、小川 大輔¹⁾、白石 裕大¹⁾、木下 翔太郎¹⁾、山尾 宣暢¹⁾、北野 雄希¹⁾、宮田 辰徳¹⁾、新田 英利²⁾、杉田 裕樹²⁾、岩槻 政晃¹⁾

1) 熊本大学、2) 熊本地域医療センター

S2-2 多型解析と免疫療法を統合したPrecision Surgeryによる肝移植・肝癌治療戦略

○大平 真裕、山本 将輝、今岡 祐輝、本明 慈彦、清水 誠一、安部 智之、黒田 慎太郎、田原 裕之、井手 健太郎、小林 剛、田中 友加、大段 秀樹
広島大学 消化器・移植外科

S2-3 空間的トランスクリプトーム解析で同定された進行肝癌におけるAtezo+Bev療法不応予測新規バイオマーカーの有用性

○長岡 克弥¹⁾、樋原 哲史¹⁾、大西 雅也²⁾、田中 靖人¹⁾
1) 熊本大学 消化器内科、2) 東京大学新領域創成科学研究科 メディカル情報生命科学専攻

S2-4 膵癌発生瞬間マップに基づくデジタル細胞診断と個別化外科医療

○小田 竜也¹⁾、花田 敬士⁴⁾、古川 徹²⁾、海野 優明²⁾、大塚 隆生³⁾、正宗 淳²⁾、菊田 和宏²⁾、水間 正道²⁾、清水 晃典²⁾、下村 治¹⁾、中橋 宏充¹⁾、宮崎 貴寛¹⁾、古田 智章¹⁾、小松崎 修平¹⁾、蒲原 知斗¹⁾
1) 筑波大学、2) 東北大大学、3) 鹿児島大学、4) JA尾道総合病院

S2-5 層別化に基づく難治性がんの病態解明と治療開発

○田中 真二
東京科学大学

【特別発言】

馬場 秀夫 一般財団法人化学及血清療法研究所

10:25~11:25 パネルディスカッション2「癌細胞の可視化技術の臨床応用」 84

座長：浦野 泰照 東京大学大学院薬学系研究科・医学系研究科
江口 英利 大阪大学大学院医学系研究科消化器外科学

PD2-1 酵素「活性」の診断と活用による、低分子ベース精密がん診断・治療技術の創製

○浦野 泰照
東京大学大学院薬学系研究科・医学系研究科

PD2-2 胃腫瘍に対する光線力学的内視鏡イメージングの開発と臨床応用

○池淵 雄一郎^{1,2)}、葉 裕貴¹⁾、磯本 一¹⁾
1) 鳥取大学医学部附属病院、2) 医療法人 元町病院

PD2-3 進行胃癌に対する5-アミノレブリン酸光線力学診断を用いた腹膜播種診断の新たなアプローチ

○高橋 剛、黒川 幸典、西塔 拓郎、萩 隆臣、中井 慈人、百瀬 洋太、山下 公太郎、田中 晃司、牧野 知紀、中島 清一、江口 英利、土岐 祐一郎
大阪大学大学院医学系研究科 消化器外科

PD2-4 LDI法を用いた質量分析イメージング用転写プレートによる固体癌診断法の開発

○夏越 啓多¹⁾、野中 謙太朗¹⁾、池田 貴将²⁾、岩崎 健³⁾、田中 充⁴⁾、内藤 康秀⁵⁾、園田 英人¹⁾、小谷 政弘²⁾、
松井 利郎⁴⁾、安藤 幸滋¹⁾、沖 英次¹⁾、吉住 朋晴¹⁾

1) 九州大学大学院 消化器・総合外科、2) 浜松ホトニクス、3) 九州大学大学院 病理診断科、4) 九州大学 農学部、
5) 光産業創成大学院大学

11:30~12:30 ワークショップ1「ゲノム異常はどのように消化器腫瘍の形態を変化させるか?」 96

座長：佐藤 俊朗 慶應義塾大学医学部・医学研究科医化学教室
相島 憲一 九州大学大学院構造病態病理学

WS1-1 オルガノイドを用いた消化器腫瘍の理解

佐藤 俊朗
慶應義塾大学

WS1-2 大腸発癌過程の分子病理学的異常と形態の相関

関根 茂樹
慶應義塾大学医学部 病理学教室

WS1-3 E-カドヘリン異常を介した肺腫瘍の形態変化

眞杉 洋平
東海大学

WS1-4 病理組織像の表現とがんゲノムとの関連

石川 俊平^{1,2)}
1) 東京大学 、2) 国立がん研究センター

12:40~13:25 ランチョンセミナー2

「HER2陽性胃癌治療の最前線：薬物療法の進歩と外科的工夫の融合」

共催：第一三共株式会社
座長：佐伯 浩司 群馬大学大学院 消化管外科学
演者：市川 大輔 山梨大学医学部 外科学講座 第1教室

13:55~15:05 シンポジウム3「患者由来オルガノイドPDOを用いた個別化医療の実現」 69

座長：石本 崇胤 公益財団法人がん研究会 がん研究所 発がん研究部
市川 大輔 山梨大学第一外科

S3-1 膜がん患者由来オルガノイドにおけるエピゲノム多様性の解析

○宮田 憲一^{1,2)}、古川 貴光^{1,3)}、楊 雨瀟¹⁾、柴田 智華子¹⁾、田中 美和¹⁾、八尾 良司⁴⁾、野田 哲生^{5,6)}、
笹平 直樹³⁾、丸山 玲緒^{1,2)}

1) がん研究会 がん研究所 がんエピゲノム研究部、2) がん研究会 NEXT-Gankenプログラム、
3) がん研究会 有明病院 肝・胆・脾内科、4) がん研究会 がん研究所 細胞生物学部、5) がん研究会 顧問、
6) がん研究会 がん研究所 名誉所長

S3-2 3D患者由来オルガノイドを用いた進行食道扁平上皮癌における術前化学療法 (DCF) の反応予測と化学療法抵抗性の解明

○清水 彰人、野間 和広、賀島 肇、水澤 洋平、松本 祐、竹田 泰茂、松本 聖、國友 知義、橋本 将志、
前田 直見、菊地 覚次、田辺 俊介、大原 利章、田澤 大、藤原 俊義
岡山大学病院

S3-3 患者由来オルガノイドバンクを基盤とした食道癌個別化免疫治療の検討

○松浦 徹、張野 誉史、山崎 誠、鳴 幸治
関西医科大学

S3-4 Functional Precision Medicineに基づく臓器横断患者腫瘍組織移植(PDX)モデルを用いた創薬開発

濱田 哲暢
国立がん研究センター

【特別発言】

大島 正伸 金沢大学がん進展制御研究所

15:10~16:10 日本癌学会とのジョイントセッション「消化器癌の新しい治療標的」 60

座長：後藤 典子 金沢大学がん進展制御研究所
田中 真二 東京科学大学 医学部 分子腫瘍医学

J2-1 遺伝学的手法を用いた大腸がんの治療標的探索

○武田 はるな¹⁾、関根 圭輔²⁾、佐藤 淳之介¹⁾、花嶋 孝文¹⁾
1) 国立がん研究センター研究所分子遺伝学ユニット、 2) 国立がん研究センター研究所がんシステム研究ユニット

J2-2 高悪性度肝癌における腫瘍血管構造に着目した新規治療標的の同定

谷合 智彦
東京慈恵会医科大学外科学講座肝胆脾外科 東京科学大学分子腫瘍医学分野

J2-3 Treg制御を介した免疫環境の再構築：肝癌における乳酸代謝阻害による革新治療

○安川 紘矢^{1,2)}、島田 周²⁾、副島 雄二¹⁾、田中 真二²⁾
1) 信州大学附属病院 消化器・移植・小児外科学分野、 2) 東京科学大学 分子腫瘍医学分野

J2-4 転移性大腸がんマウスモデルを用いた幹細胞性関連治療標的の探索

○青木 正博^{1,2)}、藤下 晃章¹⁾
1) 愛知県がんセンター研究所・がん病態生理学分野、 2) 名古屋大学医学系研究科・がん病態生理学分野

16:15~17:15 ワークショップ3 「エピゲノム変異を標的にした診断と治療」 101

座長：野村 幸世 星葉科大学医療薬学研究室
鈴木 拓 札幌医科大学医学部生化学講座分子生物学分野

WS3-1 Circulating cancer-specific Methylated DNAによる大腸癌術後再発予測

○吉松 和彦¹⁾、稻田 涼²⁾、山田 岳史³⁾、矢野 修也¹⁾、北川 集士¹⁾、田中 宏典¹⁾、東田 正陽¹⁾、岡田 敏正¹⁾、
遠藤 俊治¹⁾、藤原 由規¹⁾、上野 富雄¹⁾、永坂 岳司⁴⁾
1) 川崎医科大学 消化器外科学、2) 高知医療センター 外科、3) 日本医科大学 消化器外科、4) 川崎医科大学 先端腫瘍医学

WS3-2 胃発癌リスク診断におけるDNAメチル化の重要性

○山田 晴美^{1,2)}、牛島 俊和¹⁾
1) 星葉科大学 エピゲノム創薬研究室、2) 京都大学 消化管外科

WS3-3 肝細胞癌におけるラクチル化とフェロトーシス制御機構

○石川 琢磨、伊藤 心二、于 明洋、三田 純也、岩崎 恒、伊勢田 憲史、湯川 恭平、吉屋 匠平、本村 貴志、
戸島 剛男、吉住 朋晴
九州大学大学院 消化器・総合外科

WS3-4 肝芽腫細胞における重要なエピゲノム修飾因子の分子機構の解明

○古金 遼也^{1,2)}、工藤 渉^{1,2,3)}、星居 孝之¹⁾、関 元昭¹⁾、岡部 篤史^{1,3)}、福世 正樹¹⁾、バハテヤリ ラヒムトラ¹⁾、
菱木 知郎²⁾、金田 篤志^{1,3)}
1) 千葉大学大学院医学研究院分子腫瘍学、2) 千葉大学大学院医学研究院小児外科学、3) 千葉大学健康疾患オミクスセンター

12月16日（火） ポスター会場（2F交流ギャラリー）

ポスター会場
12月16日（火）

17:25~18:10 ポスター発表1 110

座長：愛甲 丞 東京通信病院 ロボット手術センター

P1-1 LINC02154は細胞周期や上皮間葉転換を促進することで食道癌の進展に寄与する

○新沼 猛¹⁾、下手 琴葉¹⁾、石黒 一也¹⁾、北嶋 洋志¹⁾、甲斐 正広¹⁾、仲瀬 裕志²⁾、鈴木 拓¹⁾

1) 札幌医科大学 医学部 生化学講座分子生物学分野、2) 札幌医科大学 医学部 内科学講座 消化器内科学分野

P1-2 食道癌における平衡型スクレオシド輸送体の欠損は内因性アポトーシスを誘導する

○光浦 智証^{1,2)}、永芳 友²⁾、金子 瞳²⁾、足立 優樹^{1,2)}、松本 千尋¹⁾、山下 晃平¹⁾、小澄 敬祐¹⁾、原田 和人¹⁾、江藤 弘二郎¹⁾、井田 智¹⁾、宮本 裕士¹⁾、富澤 一仁²⁾、岩槻 政晃¹⁾

1) 熊本大学大学院 消化器外科学、2) 熊本大学大学院 生命科学研究部 分子生理学

P1-3 HPV陽性頭頸部扁平上皮癌におけるextrachromosomal DNAと宿主DNAのクロマチン相互作用解析

○砂金 美紀^{1,2)}、中川 拓也^{1,2,3)}、岡部 篤史^{1,3)}、美馬 勝人¹⁾、関 元昭¹⁾、福世 真樹¹⁾、バハテヤリ ラヒムトラ¹⁾、花澤 豊行²⁾、金田 篤志^{1,3)}

1) 千葉大学大学院医学研究院分子腫瘍学、2) 千葉大学大学院医学研究院耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学、

3) 千葉大学健康疾患オミクスセンター

P1-4 胃癌におけるCLDN18発現の空間的不均一性

○小澤 貴臣¹⁾、庄田 勝俊¹⁾、丸山 傑¹⁾、河口 賀彦¹⁾、水上 瑛仁¹⁾、田中 寛人¹⁾、樋口 雄大¹⁾、滝口 光一¹⁾、白石 謙介¹⁾、古屋 信二¹⁾、齊藤 亮¹⁾、出雲 渉¹⁾、雨宮 秀武¹⁾、望月 邦夫²⁾、市川 大輔¹⁾

1) 山梨大学医学部外科学講座第1教室、2) 山梨大学医学部人体病理学教室

P1-5 スキルス胃癌由来のPRSS3/Mesotrypsinは、CAFsのPAR2/STAT3/STC1軸を介して浸潤を促進する

○佐久間 崇^{1,2)}、八代 正和^{1,2)}、佐野 智弥^{1,2)}、馬 東恒¹⁾、今西 大樹^{1,2)}、西窪 日菜乃¹⁾、範 燐峰¹⁾、山本 百合恵¹⁾、前田 清²⁾

1) 大阪公立大学大学院医学研究科 癌分子病態制御学、2) 大阪公立大学大学院医学研究科 消化器外科学

17:25~18:10 ポスター発表2 112

座長：長山 聰 宇治徳洲会病院外科

P2-1 食道癌の免疫チェックポイント阻害剤治療併用化学療法におけるctDNA検査による効果予測

○古谷 周一¹⁾、遠藤 史隆²⁾、藤澤 良介³⁾、二階 春香³⁾、馬場 誠朗³⁾、開 勇人⁴⁾、阿保 亜紀子⁴⁾、板持 広明²⁾、西塚 哲⁴⁾、岩谷 岳²⁾

1) 岩手医科大学 医学部第6学年、2) 岩手医科大学 臨床腫瘍学講座、3) 岩手医科大学 外科学講座、

4) 岩手医科大学 医歯薬総合研究所 医療開発研究部門

P2-2 核酸アプタマーと3次元変形能を持つマイクロフィルタを用いたCTCの検出と臨床応用

○宮田 辰徳¹⁾、日吉 幸晴¹⁾、中島 雄太²⁾、北村 裕介²⁾、安田 敬一郎³⁾、岩槻 政晃¹⁾

1) 熊本大学大学院 生命科学研究部 消化器外科学、2) 熊本大学大学院 先端科学研究部、3) 株式会社OGIC テクノロジーズ

P2-3 Circulating tumor cell (CTC) を用いたLiquid Biopsyに関する比較検討

○林 光希、山田 岳史、上原 圭、進士 誠一、松田 明久、横山 康行、高橋 吾郎、岩井 拓磨、香中 伸太郎、菊池 悠太、松井 隆典、吉田 寛
日本医科大学付属病院

P2-4 遺伝子改変マウスモデルにおける粘液産生大腸癌の空間的遺伝子発現解析

○佐田 春樹^{1,2)}、新津 宏明³⁾、中原 輝³⁾、三口 真司⁴⁾、田代 裕尊¹⁾、大段 秀樹²⁾、檜井 孝夫^{2,3)}
1) 独立行政法人 国立病院機構 呉医療センター、2) 広島大学大学院 消化器・移植外科学、3) 広島大学病院 遺伝子診療科、
4) 県立広島病院 消化器外科

P2-5 食道胃接合部癌における縦隔リンパ節転移の臨床的意義と診断能向上への検討

○丸山 傑、樋口 雄大、庄田 勝俊、河口 賀彦、滝口 光一、白石 謙介、古屋 信二、齊藤 亮、出雲 渉、
雨宮 秀武、川井田 博充、市川 大輔
山梨大学医学部附属病院

ポスター会場
12月16日(火)

17:25~18:10 ポスター発表3 115

座長：八木 浩一 東京大学胃食道外科

P3-1 EBV関連胃癌におけるエピジェネティックなARID1A発現調節

○齋藤 元伸^{1,2)}、加瀬 晃志¹⁾、仲野 宏¹⁾、佐瀬 善一郎¹⁾、門馬 智之¹⁾、三村 耕作¹⁾、河野 浩二¹⁾
1) 福島県立医科大学医学部消化管外科学講座、2) 福島県立医科大学附属病院がんゲノム医療診療部

P3-2 Orthotopicマウスモデルを用いた単一細胞解析による胃がん化学療法耐性機構の解明

○廣末 剛士^{1,2)}、垣内 美和子¹⁾、佐野 恭平¹⁾、末吉 国誉¹⁾、坪坂 歩¹⁾、河村 大輔¹⁾、加藤 洋人³⁾、八木 浩一²⁾、
馬場 祥史²⁾、野村 幸世⁴⁾、石川 俊平¹⁾
1) 東京大学医学部・大学院医学系研究科 衛生学教室、2) 東京大学医学部附属病院 胃食道外科、
3) 国立研究開発法人国立がん研究センター 先端医療開発センター・臨床腫瘍病理分野、4) 星葉科大学薬学部

P3-3 *H. pylori*除菌後に発見され、内視鏡切除された未分化・未分化混在型早期胃癌の臨床病理学的特徴

○八島 一夫、菫 裕貴、磯本 一
鳥取大学消化器腎臓内科学

P3-4 食道扁平上皮癌の進行を抑制するm i RNA (100-5 p, 203 a-3 p) およびm RNA (FKBP5)に関する研究

○田中 寛人、丸山 傑、庄田 勝俊、水上 瑛仁、小澤 貴臣、樋口 雄大、仲山 孝、齊藤 亮、出雲渉、白石 謙介、
古屋 信二、河口 賀彦、雨宮 秀武、市川 大輔
山梨大学医学部 第一外科

P3-5 同一患者由来食道がんオルガノイドとCAFsの樹立

○張 霽寧^{1,2)}、小林 哲夫¹⁾、那須 元美²⁾、橋本 貴史²⁾、橋口 忠典²⁾、阿部 雅明¹⁾、山下 和成¹⁾、折田 創²⁾、
峯 真司²⁾、折茂 彰¹⁾
1) 順天堂大学 医学部 病理・腫瘍学、2) 順天堂大学 医学部 上部消化管外科学

17:25~18:10 ポスター発表4 117

座長：安藤 幸滋 九州大学大学院 消化器・総合外科

P4-1 フェロトーシス負の制御因子であるHSPB1の大腸癌患者における予後再発予測マーカーとしての意義

○志村 匡信¹⁾、Yin Chengzeng¹⁾、Ma Ruiya¹⁾、北嶋 貴仁^{1,2)}、家城 英治¹⁾、天白 成¹⁾、山下 真司¹⁾、今岡 裕基¹⁾、川村 幹雄¹⁾、大北 喜基¹⁾、吉山 繁幸¹⁾、小林 美奈子^{1,3)}、大井 正貴¹⁾、奥川 喜永^{1,2)}、問山 裕二¹⁾
1) 三重大学大学院消化管小児外科学 、2) 三重大学病院ゲノム診療科 、3) 三重大学大学院先端的外科技術開発学

P4-2 同一患者由来大腸がんサンプルを用いたがん関連線維芽細胞の機能解析

○李 瑞峰¹⁾、白木原 琢哉¹⁾、阿部 雅明²⁾、本庄 薫平³⁾、杉本 起一³⁾、坂本 一博^{3,4)}、折茂 彰¹⁾
1) 順天堂大学医学部 病理・腫瘍学講座、2) 順天堂大学医学部 国際共同研究機構、
3) 順天堂大学医学部 下部消化管外科、4) 越谷市立病院

ポスター会場
12月16日(火)

P4-3 大腸癌患者の老化リンパ節と臨床病理学的因子の関係性

○金光 紘介^{1,2)}、山田 優²⁾、耕 佳徹^{1,2)}、菰原 義弘²⁾、岩槻 政晃¹⁾
1) 熊本大学病院消化器外科、2) 熊本大学大学院生命科学研究部 細胞病理学

P4-4 日本人散発性大腸がんにおけるKRT23の発現上昇と腫瘍促進性の特徴

○古市 ゆみ¹⁾、隈元 謙介¹⁾、竹島 秀幸²⁾、竹谷 洋¹⁾、馮 東萍¹⁾、牛島 俊和²⁾、岡野 圭一¹⁾
1) 香川大学、2) 星葉科大学

P4-5 TFRC阻害抗体薬による進行性大腸癌への新規治療の可能性

○遠藤 瑞貴¹⁾、横堀 武彦²⁾、Ibrahim Mohamed Omar Salah¹⁾、Dorjkhорloo Gendensuren¹⁾、大上 桜香²⁾、塩井 生馬¹⁾、片山 千佳¹⁾、柴崎 雄太¹⁾、小峯 知佳¹⁾、岡田 拓久¹⁾、白石 卓也¹⁾、調 憲¹⁾、佐伯 浩司¹⁾
1) 群馬大学総合外科学講座、2) 群馬大学未来先端研究機構

17:25~18:10 ポスター発表5 120

座長：宮本 裕士 熊本大学病院 消化器外科

P5-1 大腸癌におけるTTYH1発現の再発予測マーカーとしての有用性

○赤座 賢、梅田 晋一、佐藤 雄介、服部 憲史、中西 香企、清水 大、高見 秀樹、林 真路、田中 千恵、中山 吾郎、神田 光郎
名古屋大学

P5-2 腹腔鏡下直腸腫瘍手術後リンパ球比率と術後合併症の関連解析

○播磨 朋哉、安藤 幸滋、川副 徹郎、南原 翔、津田 康雄、中ノ子 智徳、沖 英次、吉住 朋晴
九州大学大学院消化器・総合外科

P5-3 A Case of Lynch Syndrome Diagnosed 18 Years After Initial Treatment for Colorectal Cancer

○仲里 秀次、森岡 弘光、新里 千明、高宮城 陽栄、知花 知史、川畠 康成、上江洲 一平、知念 順樹、長濱 正吉、金城 泉、友利 寛文、宮里 浩
那覇市立病院

P5-4 pseudoprogression の鑑別に苦慮したMSI-H大腸癌の一例

○蓮田 博文、永井 太一郎、田尻 裕匡、楠元 英次、中西 良太、太田 光彦、坂口 善久、楠本 哲也
国立病院機構九州医療センター

P5-5 低酸素環境制御を介した酸素ナノバブル水の抗腫瘍効果と粒径依存性

- 大上 桜香¹⁾、Dorjkhoro Gendensuren²⁾、睦月 伸季³⁾、山之内 大⁴⁾、宮田 英璃²⁾、片山 千佳²⁾、
横堀 武彦¹⁾、柴崎 雄太²⁾、小峯 知佳²⁾、岡田 拓久²⁾、白石 卓也²⁾、酒井 真²⁾、佐野 彰彦²⁾、調 憲⁵⁾、佐伯 浩司²⁾
1) 群馬大学未来先端研究機構、2) 群馬大学大学院 総合外科学 消化管外科、3) 株式会社シグマテクノロジー、
4) 藤田医科大学 血管外科、5) 群馬大学大学院 総合外科学 肝胆脾外科

17:25~18:10 ポスター発表6 122

座長：横堀 武彦 群馬大学未来先端研究機構

P6-1 肝がん細胞株におけるcabozantinibの耐性機序にはFGFR4経路が関与する

- 斎藤 温¹⁾、大澤 まみ²⁾、松田 康伸²⁾
1) 新潟大学大学院保健学研究科、2) 新潟大学医学部保健学科

P6-2 ゲムシタビン耐性膵癌におけるZIC5の機能解析

- 石田 雅揮¹⁾、松尾 洋一²⁾、上原 侑里子¹⁾、杉田 三郎¹⁾、江口 祐輝¹⁾、傳田 悠貴¹⁾、野々山 敬介¹⁾、村瀬 寛倫¹⁾、
加藤 知克¹⁾、齊藤 健太¹⁾、山川 雄士¹⁾、佐藤 崇文¹⁾、佐川 弘之¹⁾、小川 了¹⁾、瀧口 修司¹⁾
1) 名古屋市立大学病院、2) 名古屋市立大学医学部附属東部医療センター

P6-3 膵癌の化学療法耐性におけるHippo経路の分子生物学的役割

- 小川 大輔、林 洋光、白石 裕大、木下 翔太郎、山尾 宣暢、北野 雄希、宮田 辰徳、岡部 弘尚、岩槻 政晃
熊本大学大学院 生命科学研究部 消化器外科学

P6-4 肝細胞癌におけるtRNA修飾酵素CDKAL1による細胞死制御機構

- 足立 優樹¹⁾、永芳 友¹⁾、金子 瞳¹⁾、山村 遼介¹⁾、光浦 智証¹⁾、岩槻 政晃²⁾、富澤 一仁¹⁾
1) 熊本大学大学院生命科学研究部分子生理学講座、2) 熊本大学病院 消化器外科

P6-5 肝内胆管癌において、JAG1およびYAPは予後不良マーカーSOX9および免疫抑制マーカーCTNND1と相関する

- 山下 太郎、磯本 一
鳥取大学医学部附属病院

P6-6 膵癌と正常膵組織における細胞表面グリコカリックスの糖鎖構成ならびに立体構造の比較検討

- 杉山 恵みり¹⁾、富田 弘之²⁾、久野 真史¹⁾、遠藤 真英¹⁾、洞口 岳¹⁾、横井 亮磨¹⁾、松本 圭太¹⁾、林 弘賢¹⁾、
深田 真宏¹⁾、佐藤 悠太¹⁾、浅井 竜一¹⁾、安福 至¹⁾、田島 ジェシー雄¹⁾、田中 善宏¹⁾、松橋 延壽¹⁾
1) 岐阜大学医学部附属病院 消化器外科、2) 岐阜大学大学院医学系研究科 腫瘍制御学講座

17:25~18:10 ポスター発表7 125

座長：森根 裕二 徳島大学消化器・移植外科

P7-1 症候性/無症候性膵癌の予後にに関する検討

- 富野 高広¹⁾、杉町 圭史¹⁾、栗原 健¹⁾、大西 恵美¹⁾、木村 和恵²⁾、杉山 雅彦²⁾、笠木 勇太²⁾、古賀 直道²⁾、森田 勝²⁾
1) 九州がんセンター 肝胆脾外科、2) 九州がんセンター 消化管外科

P7-2 肝内胆管癌における2019年WHO分類の臨床病理学的特徴に関する検討

- 耕 佳徹^{1,2)}、林 洋光¹⁾、山田 倫²⁾、久野 祐樹¹⁾、酒匂 照生^{1,2)}、金光 紘介^{1,2)}、山尾 宣暢¹⁾、北野 雄希¹⁾、
宮田 辰徳¹⁾、岡部 弘尚¹⁾、菰原 義弘²⁾、岩槻 政晃¹⁾
1) 熊本大学大学院消化器外科学、2) 熊本大学大学院細胞病理学

ポスター会場
12月16日(火)

P7-3 胆囊周囲リンパ流と胆囊癌進展経路の関連

○山本 淳史、岡本 廣拳、川島 健司
都留市立病院 外科

P7-4 膵癌の発生を意識した慢性膵炎の至適フォローアップの検討

○横井 佑梨^{1,2)}、松尾 洋一³⁾、上原 侑里子¹⁾、傳田 悠貴¹⁾、野々山 敬介¹⁾、村瀬 寛倫¹⁾、加藤 知克¹⁾、齊藤 健太¹⁾、佐藤 崇文¹⁾、越智 靖夫²⁾、春木 伸裕²⁾、瀧口 修司¹⁾
1) 名古屋市立大学病院 消化器外科、2) トヨタ記念病院 消化器外科、3) 名古屋市立大学医学部附属東部医療センター

P7-5 脾体積増加率による類洞閉塞性症候群の術前予測

○古屋 信二、水上 瑛仁、白石 謙介、瀧口 光一、高橋 和徳、松岡 宏一、丸山 傑、庄田 勝俊、出雲 渉、齊藤 亮、河口 賀彦、雨宮 秀武、市川 大輔
山梨大学

P7-6 肝移植後のタクロリムスによる免疫抑制状態における肝癌再発機構の解明

○池原 智彦^{1,4)}、鈴木 穂²⁾、吉住 朋晴³⁾、副島 雄二⁴⁾、三森 功士¹⁾
1) 別府病院、2) 東京大学、3) 九州大学、4) 信州大学

12月17日(水)
第1会場(4F国際会議場)

9:10~10:20 シンポジウム4「がん免疫治療の新たな挑戦と展望」 71

座長：土岐 祐一郎 大阪大学消化器外科
富樫 庸介 岡山大学

S4-1 消化器癌のリンパ節内で抗PD-1治療抗体が結合した疲弊前駆CD8 T細胞は、
PD-1阻害を介して抗腫瘍免疫の増強に寄与する

○野瀬 陽平^{1,2)}、安水 良明³⁾、西塔 拓郎^{1,2)}、黒川 幸典¹⁾、大倉 永也³⁾、和田 尚^{1,2)}、江口 英利¹⁾、土岐 祐一郎¹⁾

1) 大阪大学大学院医学系研究科 消化器外科、2) 大阪大学大学院医学系研究科 臨床腫瘍免疫学、

3) 大阪大学 免疫学フロンティア研究センター 実験免疫学

S4-2 網羅的解析からみえた肝細胞癌患者における肝浸潤リンパ球の免疫機能低下

○坂本 譲、白川 智沙斗、旭 火華、吉田 祐一、志智 俊介、藤好 直、相山 健、長津 明久、川村 典生、
渡辺 正明、後藤 了一、柿坂 達彦、武富 紹信
北海道大学大学院医学研究院消化器外科学教室I

S4-3 網羅的解析からみえた、大腸癌原発巣切除検体における術前LMRと原発巣腫瘍免疫との関係

○和久井 洋佑、市川 伸樹、佐野 峻司、柴田 賢吾、今泉 健、大野 陽介、吉田 雅、武富 紹信
北海道大学大学院医学研究院 消化器外科学教室I

S4-4 疲弊T細胞の時空間的1細胞解析から見えて来たもの

犬塚 優、上田 優輝、富樫 庸介
岡山大学腫瘍微小環境分野

【特別発言】

松原 久裕 地方独立行政法人さんむ医療センター疾病予防センター

10:25~11:25 パネルディスカッション4「胃癌の根治をめざす」 88

座長：金田 篤志 千葉大学大学院医学研究院分子腫瘍学
掛地 吉弘 神戸大学大学院

PD4-1 傍大動脈リンパ節郭清を前提とした術前化学療法による個別化アプローチ

○藤田 康平、佐川 弘之、林 祥平、辻 恵理、伊藤 直、早川 俊輔、佐藤 恵央、小川 了、瀧口 修司
名古屋市立大学病院

PD4-2 胃癌の根治をめざして-リキッドバイオプシーによる胃癌腹膜播種予測と切除不能進行
胃癌に対するICI+化学療法後の外科手術 -

○西 正暁^{1,2)}、和田 佑馬¹⁾、高須 千絵¹⁾、徳永 卓哉¹⁾、柏原 秀也¹⁾、中尾 寿宏¹⁾、良元 俊昭¹⁾、森根 裕二¹⁾、
島田 光生¹⁾

1) 徳島大学消化器移植外科、2) 徳島大学実践地域診療医科学分野

PD4-3 局所進行胃癌に対する術前化学療法の有用性の検討

○池田 太郎¹⁾、金治 新悟¹⁾、裏川 直樹¹⁾、原田 仁¹⁾、杉田 裕¹⁾、安藤 正恭¹⁾、小寺澤 康文¹⁾、青木 文明¹⁾、
音羽 泰則¹⁾、後藤 裕信¹⁾、長谷川 寛¹⁾、山下 公大²⁾、松田 武¹⁾、掛地 吉弘¹⁾

1) 神戸大学大学院 医学研究科 外科学講座 食道胃腸外科学分野、

2) 神戸大学大学院 保健学研究科 病態解析学領域 分析医科学分野

PD4-4 RNA結合タンパク質ARID5AはSTAT3シグナルを介して胃がんの発生・進展を促進する

谷口 浩二
北海道大学

PD4-5 高DNAメチル化形質胃癌はTP53変異を伴わずにMDM2過剰発現によってアポトーシスを回避する

○松坂 恵介¹⁾、眞野 恭伸¹⁾、関 元昭¹⁾、喜多 和子¹⁾、福世 真樹¹⁾、繩井バハテヤリ ラヒムトラ¹⁾、臼井 源紀¹⁾、藤木 亮次¹⁾、浦辺 雅之²⁾、阿部 浩幸²⁾、松原 久裕¹⁾、牛久 哲男²⁾、瀬戸 泰之²⁾、深山 正久²⁾、金田 篤志¹⁾

1) 千葉大学、2) 東京大学

PD4-6 印環細胞の粘液形質、電子顕微鏡像、および3D培養システムにおける形態学変化

○向所 賢一¹⁾、仲山 貴永²⁾

1) 滋賀医科大学 医学・看護学教育センター、2) 滋賀医科大学 病理学講座 人体病理学部門

11:30~12:30 ワークショップ4「消化器癌ゲノム研究の最前線」 103

座長：渡邊 雅之 公益財団法人がん研究会有明病院消化器外科
藤城 光弘 東京大学医学部附属病院消化器内科

WS4-1 全ゲノム解析による食道がんと飲酒および喫煙の関係

○今村 裕¹⁾、渡邊 雅之¹⁾、森 誠一²⁾、野田 哲生²⁾、土岐 祐一郎³⁾、北川 雄光⁴⁾、加藤 健⁵⁾、藤田 武郎⁶⁾、小島 隆嗣⁷⁾、柴田 龍弘⁸⁾

1) がん研究会 有明病院 食道外科、2) がん研究会 CPMセンター、3) 大阪大学 大学院医学系研究科 消化器外科、4) 慶應義塾大学 医学部 外科学、5) 国立がん研究センター 中央病院 頭頸部・食道内科、6) 国立がん研究センター 東病院 食道外科、7) 国立がん研究センター 東病院 消化管内科、8) 東京大学 医科学研究所 ヒトゲノム解析センター

WS4-2 食道扁平上皮癌患者における術後早期腫瘍再発リスクを予測するメチル化プロファイリング

○庄田 勝俊、河口 賀彦、丸山 傑、水上 瑛仁、小澤 貴臣、田中 寛人、樋口 雄大、滝口 光一、白石 謙介、古屋 信二、齊藤 亮、出雲 渉、雨宮 秀武、市川 大輔
山梨大学医学部外科学講座第一教室

WS4-3 GAPPSの臨床検体を用いたゲノム解析による発癌メカニズムの探索

○松本 千尋¹⁾、山下 晃平¹⁾、江藤 弘二郎¹⁾、小澄 敬祐¹⁾、原田 和人¹⁾、井田 智¹⁾、宮本 裕士¹⁾、三森 功士²⁾、岩槻 政晃¹⁾

1) 熊本大学消化器外科、2) 九州大学病院別府病院外科

WS4-4 肝細胞癌におけるxCTの発現と腫瘍代謝活性との関連

○三田 純也、伊藤 心二、于 明洋、岩崎 恒、石川 琢磨、伊勢田 憲史、湯川 恭平、吉屋 匠平、本村 貴志、戸島 剛男、吉住 朋晴
九州大学大学院 消化器・総合外科

WS4-5 SMARCAL1はcGAS-STING経路を介して、肝細胞癌における免疫チェックポイント阻害剤の治療に影響を及ぼす

○周 沛璣、伊藤 心二、中山 淳貴、于 明洋、三田 純也、岩崎 恒、石川 琢磨、伊勢田 憲史、湯川 恭平、吉屋 匠平、本村 貴志、戸島 �剛男、吉住 朋晴
九州大学大学院 消化器・総合外科（第二外科）

WS4-6 C-CATデータベースを用いた切除不能胆道癌の化学療法奏効因子の検討

○石垣 和祥¹⁾、高原 楠昊²⁾、藤城 光弘¹⁾

1) 東京大学医学部附属病院 臨床腫瘍科、2) 東京大学医学部附属病院 消化器内科

12:40~13:25 ランチョンセミナー3「胃癌治療最前線」

共催：ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社／小野薬品工業株式会社

座長：沖 英次 九州大学病院 先端医工学診療部

演者：山口 研成 公益財団法人がん研究会有明病院 消化器センター 消化器化学療法科

13:30~13:50 大原毅賞受賞講演 46

座長：宇都宮 徹 大分県立病院

転移形式で切り分けた消化器癌バイオマーカー探索と創薬への発展

神田 光郎

名古屋大学 消化器外科学

13:55~14:15 田原榮一賞受賞講演 48

座長：谷口 浩二 北海道大学

肝胆道領域癌の病理学的特徴に立脚したバイオマーカーの探索

相島 慎一

九州大学大学院 構造病態病理学

第12月
17日
会場
(水)

14:20~15:30 シンポジウム6「染色体外DNAと発がん」 75

座長：柴田 龍弘 東京大学 医科学研究所
大津 甫 九州大学病院別府病院 外科

S6-1 胃がんにおける染色体外DNAの臨床病理学的・分子遺伝学的特徴

○外園 晋夫^{1,2)}、足立 美保子^{1,3)}、濱 奈津子¹⁾、中村 浩美¹⁾、新井 康仁¹⁾、深川 彰彦^{1,2)}、十時 泰⁴⁾、六反 啓文⁵⁾、牛久 哲男²⁾、谷内田 真一⁴⁾、柴田 龍弘^{1,3)}

1) 国立がん研究センター研究所 がんゲノミクス研究分野、2) 東京大学大学院医学系研究科人体病理学教室、

3) 東京大学医科学研究所 ゲノム医科学分野、4) 大阪大学大学院医学系研究科 がんゲノム情報学教室、

5) 東京都健康長寿医療センター 病理診断科

S6-2 食道のcombined BSCCにおけるBSCCからSCCへの組織発生的転換にはeccDNAが関与している

○横堀 武彦^{1,2)}、栗山 健吾¹⁾、Erkhem-Ochir Bilguun²⁾、田上 道平³⁾、宗田 真¹⁾、中澤 信博¹⁾、佐野 彰彦¹⁾、酒井 真¹⁾、桑野 博行¹⁾、調 憲¹⁾、佐伯 浩司¹⁾

1) 群馬大学 総合外科学講座、2) 群馬大学 未来先端研究機構、3) 理化学研究所

S6-3 EcDNA由来新規エンハンサーによるHPV関連中咽頭がんの3Dクロマチン再構成

○中川 拓也^{1,2,3,4)}、砂金 美紀^{2,3)}、新井 亮^{2,3)}、佐永田 健太^{2,3)}、花澤 豊行³⁾、金田 篤志^{1,2)}、Califano Joseph⁴⁾

1) 千葉大学健康疾患オミクスセンター、2) 千葉大学大学院医学研究院分子腫瘍学、

3) 千葉大学大学院医学研究院耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学、4) カリフォルニア大学サンディエゴ校ムーアズがんセンター

15:40~17:30 国際シンポジウム「がん予防にむけた がん細胞および細胞社会の解明」 40

座長：高橋 雅英 藤田医科大学 国際再生医療センター
野田 哲生 公益財団法人がん研究会がん研究所

IS-1 Can We Catch Cancer Before It Is Born: Revolutionizing Cancer Early Detection

Sudhir Srivastava, Ph.D., MPH

Editor-in-Chief, Cancer Biomarkers and National Cancer Institute, National Institute of Health, Bethesda, MD

IS-2 Spatial omics reveals microenvironmental cues that shape intra-tumoral malignant cell diversity in colorectal cancer

Shyam Prabhakar

Genome Institute of Singapore (GIS), Agency for Science, Technology and Research (A*STAR)

Nanyang Technological University (NTU), Lee Kong Chian School of Medicine

- IS-3** From Discovery to Clinical Implementation of a Blood Biomarker for Early Detection of Pancreatic Cancer.

Kazufumi Honda

Department of Molecular Prevention/Graduate School of Medicine, Nippon Medical School. Tokyo Japan.

- IS-4** 体細胞変異タンパク質を利用したリキッドバイオプシー技術開発

植田 幸嗣

がん研究会 がんプレシジョン医療研究センター 分析生化学研究部

17:30~17:35 閉会式

第 12
月
1 17
会 日
場 (水)

12月17日(水)
第2会場(7F大会議場)

9:10~10:20 シンポジウム5「シングルセル解析と微小環境」 73

座長：島村 徹平 東京科学大学 総合研究院 難治疾患研究所
折茂 彰 順天堂大学医学部病理・腫瘍学

S5-1 癌関連線維芽細胞による新規な食道癌増殖・浸潤促進メカニズムの解明

○山下 和成¹⁾、小島 崇史^{1,2)}、深瀬 裕之^{1,2)}、鈴木 詩織^{1,3)}、長谷川 伶¹⁾、野村 美咲¹⁾、王 子旭¹⁾、翟 羽薇¹⁾、大嶼 慎一²⁾、松本 文彦²⁾、橋口 忠典⁴⁾、橋本 貴史⁴⁾、那須 元美⁴⁾、峯 真司⁴⁾、折茂 彰¹⁾

1) 順天堂大学 病理・腫瘍学、2) 順天堂大学 耳鼻咽喉科学、3) 順天堂大学 呼吸器外科学、
4) 順天堂大学 上部消化管外科学

S5-2 シングルセル解析を用いた肝細胞癌に対する複合免疫療法に伴う腫瘍微小環境変化の解明

○岩崎 恒、伊藤 心二、于 明洋、三田 純也、伊勢田 憲史、湯川 恭平、本村 貴志、戸島 剛男、吉住 朋晴
九州大学病院

S5-3 深層学習による一細胞解像度の微小環境状態の推定

小嶋 泰弘
国立がん研究センター

S5-4 空間トランスクリプトミクスにおける共発現遺伝子モジュール同定法の開発

○波江野 洋、佐伯 晃一、張 世誠
東京理科大学

【特別発言】

油谷 浩幸 東京大学先端科学技術研究センター

第 12
2 月
17
会 日
場 (水)

10:25~11:25 パネルディスカッション5「がんのマイクロバイオーム」 91

座長：松橋 延壽 岐阜大学消化器外科・小児外科
谷内田 真一 大阪大学大学院医学系研究科 医学専攻 がんゲノム情報学

PD5-1 直腸癌術後における腸内細菌叢多様性の経時変化と回復パターン

○洞口 岳、久野 真史、藤林 勢世、三井 範基、近石 和花菜、横井 亮磨、畠中 勇治、松本 圭太、林 弘賢、
田島 ジェシー 雄、田中 善宏、松橋 延壽
岐阜大学医学部付属病院

PD5-2 小腸絨毛にフォーカスした至適抗癌剤投与量設定の可能性

○田中 善宏、藤林 勢世、洞口 岳、畠中 勇治、深田 真宏、浅井 竜一、安福 至、佐藤 悠太、田島ジェシー 雄、
松橋 延壽
岐阜大学附属病院 消化器外科・小児外科

PD5-3 日本人大腸がんにおける腸内細菌叢と年代別の特徴およびコリバクチン関連大腸がんに関する検討

柴 知史
国立がん研究センター研究所

PD5-4 食道扁平上皮癌微小環境におけるFusobacterium nucleatumによる免疫寛容の分子機構解明

○大町 一樹^{1,2)}、大津 甫¹⁾、安東 由貴¹⁾、胡 慶江¹⁾、米村 祐輔¹⁾、岩槻 政晃²⁾、三森 功士¹⁾

1) 九州大学病院別府病院外科、2) 熊本大学消化器外科

PD5-5 フソバクテリウム感染と卵巣がんの病態との関連

○新城 恵子、鈴木 美穂、近藤 豊
名古屋大学

11:30~12:30 ワークショップ5「消化器がんの幹細胞を科学する」 106

座長：藤原 俊義 岡山大学学術研究院医歯薬学域 消化器外科学
中山 敬一 東京科学大学・総合研究院・高等研究府

WS5-1 膜がん幹細胞の同定と光免疫療法によるがん幹細胞撲滅

中山 敬一
東京科学大学

WS5-2 膜がんにおけるがん幹細胞マーカーとしてのLY6Dの検討

○千場 隆、米村 敦子、石本 崇胤
公益財団法人がん研究会がん研究所発がん研究部

WS5-3 膜癌の化学放射線耐性に関わる癌幹細胞マーカーの探索と臨床応用

○松尾 洋一^{1,2)}、石田 雅揮²⁾、杉田 三郎²⁾、上原 侑里子²⁾、江口 祐輝²⁾、傳田 悠貴²⁾、野々山 敬介²⁾、
村瀬 寛倫²⁾、加藤 知克²⁾、齊藤 健太²⁾、佐藤 崇文²⁾、社本 智也¹⁾、志賀 一慶¹⁾、田中 達也¹⁾、瀧口 修司²⁾
1) 名古屋市立大学医学部附属東部医療センター、2) 名古屋市立大学

WS5-4 m6A制御は膜腫瘍の発生と進展に関わりその制御は新たな治療の標的となる

○原 知明¹⁾、孟 思昆¹⁾、立川 章太郎²⁾、佐藤 哲也^{3,4)}、小川 和彦²⁾、石井 秀始¹⁾
1) 大阪大学大学院医学系研究科 疾患データサイエンス学、2) 大阪大学大学院医学系研究科 放射線統合医学講座 放射線治療学教室、
3) 埼玉医科大学 医学部 中央研究施設、4) H.U.グループ中央研究所

WS5-5 γ -グルタミルシクロトランスクレアーゼによるがん幹細胞性促進機構

○下野 洋平¹⁾、林 孝典¹⁾、末石 布志子¹⁾、鈴木 元¹⁾、浅井 直也¹⁾、Turtoi Andrei²⁾
1) 藤田医科大学、2) モンペリエ工癌研究所

WS5-6 空間トランスクリプトーム解析を用いた大腸がん幹細胞性と腫瘍微小環境の解析

○安村 健人、中西 祐貴、馬場 真珠、横田 瞭、池田 宗弘、陳 佳玉、増井 容子、青山 直樹、岩根 康祐、
河相 宗矩、尾松 万悠紀、長尾 宗政、牟田 優、福田 晃久、妹尾 浩
京都大学

第 12
月
2 17
会
場
(水)

12:40~13:25 ランチョンセミナー4

「肝細胞癌における集学的治療～STRIDEレジメンによる奏効の特徴・ 肝予備能への影響の観点から考察する～」

共催：アストラゼネカ株式会社
座長：副島 雄二 信州大学医学部外科学教室 消化器・移植・小児外科分野
演者：伊藤 心二 九州大学大学院医学研究院 消化器・総合外科学分野

14:20~15:30 シンポジウム7「肝胆膵がん根治せよ」 77

座長：吉住 朋晴 九州大学大学院医学研究院 消化器・総合外科
常山 幸一 徳島大学大学院医歯薬学研究部疾患病理学分野

S7-1 國際共同研究からみたHDV関連肝癌の分子基盤と個別化治療の可能性

常山 幸一
徳島大学大学院医歯薬学研究部疾患病理学分野

S7-2 MASHモデルにおける胆汁酸シグナルの二面性：TSODマウスでの肝発癌遅延

○清水 真祐子、常山 幸一
徳島大学

S7-3 基礎と臨床からアプローチする肝細胞癌根治への取り組み

○伊藤 心二、石川 琢磨、岩崎 恒、三田 純也、于 明洋、伊勢田 憲史、湯川 恭平、吉屋 匠平、本村 貴志、
戸島 剛男、吉住 朋晴
九州大学大学院

**S7-4 miR-27b-5pは、鍵となるエクソソーム放出遺伝子Rab27Aを制御することで、
膵臓がんの転移を促進する**

○肖 明兵、黄 梦香、桐、季、金 丹丹、浚
Department of Gastroenterology, Affiliated Hospital of Nantong University, Medical School of Nantong
University, Nantong, Jiangsu 226001, China

S7-5 TCL1AのB細胞媒介性免疫老化による糖尿病膵癌機制

○吳 桐^{1,2)}、陳 巧蘭⁴⁾、清水 真祐子³⁾、常山 幸一³⁾、肖 明兵¹⁾
1) 南通大学附属医院、2) 南通大学医学院、3) 徳島大学、4) 南通大学附属東台人民医院

【特別発言】

調 憲 群馬大学大学院医学系研究科総合外科学講座肝胆脾外科学分野

第 12
2 月
会 17
場 日
(水)